

2020 AUTOBACS SUPER GT Round 2 たかのこのホテル FUJI GT 300km RACE

2020年8月9日(日)

決勝 レポート

66 Laps



場所: 富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563m

天候: 曇り | コース: ドライ | 気温/路温 開始: 30°C/路温 40°C 終盤: 30°C/路温 41°C | 観客動員数: 無観客開催

2位獲得

2020年 SUPER GT 第2戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。昨日に引き続き、雲はあるが暑い一日となった。

8月9日(日)

<決勝 66LAPS / 13:00~>

スタート直後に、富士独特の長いストレートで最高速の早い後続車にパスされないで周回出来るかも重要である。1周のフォーメーションラップ後、300kmレースのスタートはきられた。スタートを受け持った山内英輝は1周目に#55 NSXを、3周目に#2 ロータス、8周目に#6 MC86をパスしトップに立つ。25周目にピットイン、給油とタイヤ4本を替えて井口卓人に代わる。井口はピット時間で順位を逆転された#2を必死で追い上げるが#2も手強い。トップとの差を1.5秒まで縮めるが抜くことは出来ず2位でチェッカ



www.rdsport.net

一を受けた。なお、GT500クラスの優勝は#17 KEIHIN NSX-GT が、GT300クラスは#2 シンティアム・アップル・ロータスが制した。



■本島監督 コメント



表彰台の中央に行きたかったのですが#2も手強かったですね。富士で戦える BRZ になった手応えは感じますがもっと速くないといけませんね。まだまだやれる事はたくさんありますから、SUBARU ファンの方々に早くトップを走る BRZ を見てもらえるよう頑張ります。

■井口 卓人 コメント



今大会は、前戦のデーターを活かし車両のセットアップも決まり、開幕戦に比べると1つ高いレベルで走る事ができました。予選ではQ1を担当しましたが、久しぶりに BRZ で気持ちの良いアタックが出来て、トップタイムを記録する事が出来ました。山内選手も Q2で素晴らしい走りをしてくれて、予選4番手からのスタートとなりました。決勝では、山内選手がスタートからポジションを上げてくれて、好ペースでレースを進めてくれました。トップでピットインし、ドライバー交代を行いチームもノーミスでコースに戻してくれました。ライバルの#2とは、給油量の差が3~4秒ほどあり、最後まで攻め続けましたが、その差を埋められませんでした。本当に勝たなかったですが、前戦リタイアしたあとで、チームがノーミスで力を出し切れた事を考えれば素晴らしい結果だったと思います。次戦の鈴鹿は、ウェイトを積みますが、表彰台を目指して精一杯頑張ります。

■山内 英輝 コメント



今回、決勝を走りきり、全員がミス無く完璧なレースが出来たと思います。その結果2位を獲得する事が出来ました。開幕戦で速さが足りなかった部分も、チームやダンロップさんの頑張りのおかげで、より強いマシンになったことにより、トップまで追い上げる事ができ、本当に感謝です。この良い流れを離さないように、全戦良いレースが出来るように、自分自身のドライビング、マシンの進化も追求出来るように頑張っていきたいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2020/sgt/report/>もご覧ください

2020年8月9日
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net